

第2回須坂市国民健康保険運営協議会議事録（要旨）

1 開催日時

2025年2月17日（月）

午後1時30分 開会

午後3時00分 閉会

2 会議の場所

須坂市役所 本庁舎3階 305会議室

3 出席委員

大 峽 郁 子

竹 本 清 子

松 岡 慎 也

師 岡 京 子

高 野 恭 平

松 下 英 知

樋 口 義 宏

飯 田 久 夫

岡 村 將 次

堀 野 学 嗣

4 欠席委員

五 明 広 樹

松 澤 正 浩

豊 田 清 寧

若 槻 吉 章

5 事務局出席職員

牧健康福祉部長・市川医療保険課長・荻原健康づくり課長・唐沢税務課長・堀内課長補佐兼福祉医療係長・赤沼健康支援係担当係長・宮崎国保年金係長・尾島国保年金係主任主事

6 傍聴者

0名

7 配布資料

(1) 会議次第

(2) 委員名簿

(3) 須坂市国民健康保険運営協議会規則

(4) 長野県における国民健康保険運営の中期的改革方針（保険料水準等の統一に向けたロードマップ）に係る主な取組について

(5) 被保険者の健康課題と地域での取組みについて

(6) 2/4 開催 長野県国民健康保険運営協議会資料抜粋

(7) 2024年度版 須坂市の国保

8 副会長あいさつ 飯田 久夫 委員

須坂市国民健康保険運営協議会の副会長をしております飯田久夫です。本日、豊田会長が欠席しておりますので代わりに私から一言ご挨拶させていただきます。

本日はお忙しい中、第2回須坂市国民健康保険運営協議会にご出席をいただき、ありがと

うございます。

国民健康保険運営協議会は、国民健康保険法により設置が定められているところであり、市長の諮問機関として、国民健康保険の運営について必要な意見交換や調査、審議をしていただく大切な協議会であります。

本日の運営協議会の協議事項は、2025年度の事業費納付金、2025年度当初予算、医療費等の動向、制度改正に関する項目等について協議する場となっています。

各分野から選出された皆様には、今後も国保の健全運営ができるよう忌憚のない意見などをいただき、健康長寿社会の実現へ取り組んでまいりたいと考えておりますのでよろしく願いします。

9 会議録署名委員の指名

被保険者代表 師岡 京子 委員、公益代表 岡村 將次 委員 を指名

10 協議状況

(1) 国民健康保険事業費納付金について

事務局から説明（市川医療保険課長）

原案どおり了承

(2) 2025年度須崎市国民健康保険特別会計当初予算（案）について

事務局から説明（市川医療保険課長）

原案どおり了承

(3) 須崎市国民健康保険医療費等の動向について

事務局から説明（宮崎国保年金係長）

原案どおり了承

(4) 2025年度国民健康保険の制度改正について

事務局から説明（唐沢税務課長）

原案どおり了承

(5) 長野県における国民健康保険運営の中期的改革方針（保険料水準等の統一に向けたロードマップ）に係る主な取組について

事務局から説明（宮崎国保年金係長）

原案どおり了承

(6) 被保険者の健康課題と地域での取組み

事務局から説明（荻原健康づくり課長）

原案どおり了承

(7) その他（子ども・子育て支援金制度の創設、高額療養費制度における自己負担額の引き上げについて）

事務局から説明（宮崎国保年金係長）

《主な意見と回答》

委員：須坂市での高額療養費の状況を伺いたい。

事務局：今年度の高額療養費の保険給付の状況は、件数で月平均約 500 件～600 件、金額で月平均約 3,600 万円を支出している。高額療養費の改正で自己負担額が増額することで高額療養費としての保険給付が減額すると見込まれる。

委員：子ども・子育て支援金として医療保険者が保険料を集めて、子育て支援事業に使うとのことだが、今後、市として子どもや子育て世帯への支援など予定している事業はあるか。

事務局：子ども・子育て支援金の使途としては児童手当の拡充分に充てることが決まっているが、その他の事業については国の動向を注視しながら検討を進めている。直接国保とは関係ないが、医療保険課としては、福祉医療費給付金として18歳までの児童に対し、現在は医療費の窓口負担を500円としているが、令和8年度から医療費の窓口完全無料化を行うため準備をすすめている。

委員：一人あたり医療費が増加している原因は何か。

事務局：全国的な傾向として60歳代の医療を必要とする世代の被保険者が多いことや医療の高度化により保険診療の額の増加、今まで保険適用外だった高額薬剤などが保険適用となったこと等が原因と考える。

(8) 全体を通しての質疑応答

《主な意見と回答》

委員：歯の健康について、学生の頃は歯科健診（検診）を受ける機会があったが、社会人になると自主的に健診（検診）を行う必要があり健診（検診）の機会が減っていると感じる。市として歯の健康について何か取組を行っているか。

事務局：20歳から70歳までの10歳刻みの節目年齢の方を対象に成人歯周病検診を実施している。令和6年7月から20歳と30歳の方も検診を受けられるように対象者を拡大した。また、妊婦を対象とした歯科健診も実施しており、いずれも無料で健診（検診）を受けることができる。健診（検診）以外の取組みとしては、糖尿病予防教室を行った際に歯科衛生士の講話を行うなど、歯の健康について周知啓発を行っている。

委員：血糖値を気軽に測れるよう市で血糖値を測る機械を購入する予定はあるか。
血圧は気軽に測れるが、血糖値は個人で計測することは難しいと感じている。
測定器を購入することで、血糖値の高い方などへの健康相談等につなげることも可能かと思う。

事務局：機械の購入や設置などについて検討していきたい。

11 健康福祉部長あいさつ 牧健康福祉部長

本日で委員の皆様の任期が最後となりますので御礼を申し上げます。これまで3年間にわたり須坂市の国民健康保険の運営に関することや国民健康保険に加入している市民の皆様の保健指導、データヘルス計画など様々な事案についてご教授いただきありがとうございました。いただいたご意見を参考に今後も社会全体の制度の変化を踏まえながら、市民の皆様が安心して必要な医療を受けていただけるよう、そして一人一人が健康で充実した生活を送っていただけるよう、今後も皆様のそれぞれのお立場からご指導、ご協力いただければ幸いです。

2025年2月17日

副会長 飯田 久夫

署名委員 師岡 京子

署名委員 岡村 将次